

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

音戸中学校区 校番 28 学校名 音戸小学校

a 学校教育目標	〈小中一貫教育目標〉 ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 知・徳・体の基礎的な力を身に付け、学校や故郷に誇りと愛情を持ち、感謝・貢献する児童を育む。
	夢をもち 自ら動き たくましく 生活する 児童の育成		〈ビジョン〉(将来の学校像) 挨拶と笑顔があふれ、安全・安心な学校 児童が自信を持ち、目標に向けて挑戦する学校 地域・家庭とつながり、信頼される学校を目指す。

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>「考える授業」づくりに向けて授業改善に取り組み、個別指導で補充学習を継続したことで、低学力児童の学力向上に成果が見られた。また、地域素材を生かした学習や交流を全学年で取り組み、地域と関わりを深め、郷土愛を育てている。業務改善については職員の声を生かしながら、取組を進め、徐々に意識改革を図ることができた。課題としては、新たなことに挑戦したり、自律的に行動したりする積極性が乏しい児童が多いことである。</p> <p>今年度の重点 「自ら 気づき 考え 進んで 行動する 音戸の子」</p> <p>① 「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善と個に応じた指導の推進。 ② 地域素材(人・もの・こと)と関わり、生かした学習活動の充実 ③ 家庭・地域との協働による指導の徹底(挨拶・返事・言葉づかい、基本的生活習慣、家庭学習の定着)</p>
------------------------------	---

育成すべき資質・能力	「知識・技能」 「思考表現する力」 「協働的に関わる力」 「地域の一員として関わる力」
------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・②・③ 年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(10)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	(知) 「前より賢くなった!友達と学び合うことが楽しい」といえる児童の育成	①児童が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを進める	○考える授業づくり ・考えなくなる課題設定 ・考えを導くための発問 ・考えを持ち、目的を明確にした交流 ・視点に沿った振り返り	○単元末テスト通過率(低・中・高)  ○教職員意識調査(授業改善に関して) ○児童意識調査(主体的な学びに関して)	80 75 70 70 75	84 83 83 75	105 111 119 107 126	A A A A A	88 85 83 100 88	110 113 118 142 117	A A A A A
		②個に応じた指導を工夫し、基礎学力の定着を図る	○家庭(自主)学習の定着 ○個に応じた課題別学習(ドリルタイム・放課後学習等)	○家庭学習定着率(3年～:自主学習)	80	96	120	A	96	120	A
** 豊かな心	(徳) 「友達大好き・自分大好き・音戸大好き」な児童の育成	③自他のよさを認め合い、自尊感情、自己有用感を向上させる。	○「親切さんありがとう」運動の取組 ○「あいさつ」の徹底  ○縦割り班活動、異学年交流等の充実	○「親切さんありがとう」を推薦した児童の割合 ○児童・保護者・地域・教職員意識調査 ○児童意識調査(自尊感情・自己有用感に関して)	80 80 80	47.1 91.3 91.3	59 114 114	D A A	41.0 92.3 90.7	51.2 115.3 113.3	D A A
		④地域の人・もの・ことと関わり、活用し、感謝・貢献する意識を醸成する。	○地域学習や貢献活動を学年3回以上実施	○ふるさと自慢できる児童の割合	80	80.0	100	A	97.0	121.2	A
* 健やかな心身	(体) 「運動大好き・給食大好き・早寝早起き音戸っ子」の育成	⑤基本的な生活習慣の確立を図る。	○「げんきっずカード」による取組(メディア・早寝・早起き・朝ご飯・歯磨き)	○5項目を70%以上達成できた児童の割合	85	93.3	110	A	89.1	105	A
		⑥児童の運動意欲を高め、体力づくりを推進する。	○走力・跳躍力を重点的に伸ばす取組(3分間走・授業始めサーキットトレーニング・くれチャレンジマッチスタジアム等)	○50m走の記録が全国平均を上回る児童の割合 ○立ち幅跳びの記録が全国平均を上回る児童の割合	70 70	49.0 58.4	70 83	C B	60.9 73.3	87 104	B A

業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮し、健康でやりがいを持って働くことができる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保	○行事の精選と簡略化	児童と向きあう時間が確保されていると感じる教員の割合	80	89	111	A	82	103	A
		長時間労働の縮減	○週2回短縮日課による、放課後時間の確保	時間外勤務が月45時間以下の教職員の割合	100	80	80	B	85	85	B
			○週1回の定時退校の推進								

【k:評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60